

入曽地区の中学校の概要

	入間中学校	山王中学校	入間野中学校	課 題 点
校舎建設年	昭和40年(1965年)	昭和52年(1977年)	昭和63年(1988年)	入間中は老朽化が進みつつある。
校舎耐震補強工事	未済	済(平成22年)	不要(新耐震基準)	入間中で耐震補強工事を実施した場合、約2.8億円の経費が見込まれる。山王中を解体した場合、国庫補助金の一部返納が生じる。
冷暖房工事	未済	未済	済(昭和63年)	入間中で冷暖房工事を実施した場合、約2.9億円の経費が見込まれる。山王中で冷暖房工事を実施した場合、約3.6億円の経費が見込まれる。
平成23年度学級数	9学級 (生徒数277人)	10学級 (生徒数351人)	9学級 (生徒数302人)	3校とも今後も適正規模(12~18学級)の確保が難しい状況が見込まれる。
平成29年度学級数 【推計】	9学級 (生徒数312人)	9学級 (生徒数286人)	9学級 (生徒数300人)	
普通教室の保有数	19教室	31教室	18教室	入間中と入間野中は、本来普通教室として使用するために整備された教室の数が比較的少ないため、統合校となった場合には受け入れの人数に限りがある。
運動場面積	7,100㎡	17,516㎡	16,451㎡	入間中は他の2校に比べて半分以下の面積しか有していない。
体育館面積	906㎡	1,162㎡	1,167㎡	入間中は比較的狭い。
入間小の廃校に伴う通学区域の変更	入間小(119人)→南小	変更なし	入間小(129人)→入間野小	入間中または入間野中が廃止された場合、入間小出身の生徒については再び統廃合を経験することとなる。
通学区域の変遷	昭和22年開校	昭和52年開校時、入間中などから一部分離	昭和63年開校時、入間中、山王中などから一部分離	
都市計画区域	第一種低層住居専用地域	市街化調整区域	市街化調整区域	第一種低層住居専用地域の場合、跡地利用や施設の建設に制限がある。市街化調整区域では、原則として開発行為等が制限される。

注) 網掛けは、当該中学校を廃止することにより効果が期待できる項目